



## 脳を鍛えるためには

以前、どこかの大学教授が「現代人の脳はさぼっている」というようなことを話されていました。

情けない話になりますが、最近メモを取ろうとする時に思い出そうとしても漢字が出てこないことが多々あります。常にパソコンでの文章作成により漢字を書く機会が減少したからに違いありません。読めるけれども書けない漢字ばかりが増えていきます。

スマホの利用によって、数字を覚える力も衰えてしまった感があります。昔は他人の電話番号ぐらい少しは覚えていたものですが、これも、脳が「これで数字も覚えなくてよくなった。」と判断しているのかもしれませんが。

もっと言うと、車やスマホのナビシステムです。これにより私たちの生活はびっくりするほど快適になりました。が、これも同時に脳の仕事が奪われ、私たちから「地図を見ながら目的地を探す」力が徐々に失われている気がします。

このように、快適さ・便利さを追求するいわゆる“超スマート社会”が今後も進展するのは間違いないだろうし、その進展が悪いと言うつもりはもちろんありません。

ただし、意識的に運動して鍛えないと筋力が衰えていくのと同じで、先ほどの件からも分かるように、自分自身このままでは脳も意識して鍛えないと衰えていくに違いないとひどく不安になっています。

では、脳を鍛えるのに効果的なこととは何か。これもどこかで聞いたことですが、一方的に入ってくる視覚情報などを浴びることの正反対で、入ってくる情報を受け身ではなく「想像力を働かせ」ながら考えイメージを膨らますことらしいです。そういう意味では、映像のないラジオ、さらには情報が活字のみの読書が効果的なのかもしれません。

<sup>こい</sup>語彙力（知っている言葉の多さ、言葉を適切に使いこなす力）、集中力、読解力、表現力、発信力、そして学力、あげたらキリがないくらい読書では力がつくそうです。

これからの社会では、知識量よりもその知識の活用能力、人とのコミュニケーション能力が求められると言われています。そういう意味では、読書にいそしみ表現力、発信力を鍛えていくことが求められるのではないかと思います。初心に戻って、スマホやゲームに費やす時間のほんの少しを割いて、“読書”の時間に見てみてはどうでしょうか。

後になりましたが、保護者の皆様、今年度も締めくくりの時期となりました。先日、3年生の私立入試・公立前期選抜が終わり、いよいよ公立中期選抜が近づいてきました。

受験を控える生徒は、不安と緊張感を持って過ごし、受験を終えた生徒も、受験を控える生徒を気遣いながら傍で支えています。1・2年生も、その3年生のひたむきな姿勢と雰囲気を感じつつ、落ち着きある学校生活を送っています。我々も、そのような生徒達の頑張りを全力でサポートして参りますので、最後までご理解とご支援をお願い致します。

# 殿中生の努力が評価されました！！

## 全国で、京都府で大活躍です！！

殿中は現在全校生徒数が100人を切り、97名と人数が少ない学校ですが、一人ひとりの個性が発揮される素敵な学校でもあります。

そんな中、ここ数年力を入れて取り組んできた、京都府「北方領土とわたしたち」作文コンクールでは、本校の3名の生徒が入賞、そして全国で10名しか出場できない「北方領土に関する全国スピーチコンテスト」にも、本校生徒が選ばれ、見事全国3位の評価をいただきました。

保護者の皆様や地域の皆様のご支援が、中学校の生徒や教職員のやる気につながっています。今後も、生徒の力を伸ばし、その個性を発揮できるように、頑張っていきたいと思っております。

### 【京都府「北方領土とわたしたち」作文コンクール結果】

- 優秀賞(京都府教育委員会教育長賞) 2年 船越 璃子 さん
- 優秀賞(北方領土返還要求京都府民会議会長賞) 2年 楓 るりさん
- 入選 2年 山口 愛依さん

### 【「北方領土に関する全国スピーチコンテスト」結果】

- 独立行政法人北方領土問題対策協会理事長賞(第3位)



船越さんは、京都府府庁にて、京都府教育委員会教育長から直接表彰されました。



楓さんは、東京の会場で素晴らしいスピーチを行いました。応募作品6,350点から10名が選ばれ、そしてその中で3位になりました。



### 【当面の日程】 いよいよ節目の月です。

3年生と過ごす時間もあとわずかとなりました。

月	日	曜	主な行事
3	1	金	下校時間変更(夏校時へ)
	7	木	公立中期選抜 3年生を送る会リハーサル
	8	金	3年生を送る会 生徒会引継ぎ会
	11	月	3年生同窓会入会式 卒業式予行・前日準備
	12	火	卒業式
	15	金	PTA引継ぎ
	18	月	給食終了 公立中期選抜合格発表
	22	金	修了式
	25	月	公立後期選抜
27	水	公立後期選抜合格発表	

### 自分は今もういないけど、誰かのまだいる

昨年度に続き、本年度も生徒会と南丹市子育て支援課が協力して進めている取組です。今年も日吉町の皆様にご協力いただき、多くの物品(リユース品)が集まりました。本当にありがとうございました。南丹市子育て支援課にみなさんの大切な真心と共にお渡ししました。

